

# 住民へのメッセージ

平成17年7月26日

垂井町行財政改革住民ワークショップ  
参加者一同

テーマ 防災

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考	
短期	協働	1	危険個所のハザードマップをつくるために、調査を行う			
		2	災害時の避難地の明示			
		3	非常食等の備蓄(個人、町とも)			
		4	防災組織づくり			
		5	町内森林の森林カルテ作成(住民、行政、企業の協働)			
		6	一戸建て中心の住宅地への消火器の配備			
		7	山道の整備			
		8	水路の草刈、土砂の取り除き			
		9	防災倉庫、施設の用法徹底習得			
	自助	共助	1	自治会組織の中で治山・治水対策について話し合う		
			2	自治会で防災訓練や組織づくり、実行部隊までつくる		
			3	防災知識の再確認を行う		
4			消防体制は住民の年齢等に合わせた対応で実施する			
5	新興住宅地の緊急体制の整備					
6	各町内ごとに防災のための集会					
7	森林NPOの創設と森林ボランティアの育成					
8	婦人消防団の強化と協力					
9	防災:自治会で交通安全委員会レベルの受け皿の組織化					
10	防災:使用訓練2回/年、同時に点検も実施					
11	防災:隣近所との付き合いづくり					
中期	自助	1	浸水等に対する意識をもつ。「町に何とかしてもらえ」という考えをやめる			
		2	消火栓ごとに5～6人の取扱者を決めておく(婦人消防隊も含む)			
		3	防災:町内全員参加で1操法2名以上習得			
		4	防災:中、高生も参加させて近隣者とのつきあい体験			
	協働	共助	1	町内を総点検し、対策の検討を進める(行政、専門家、住民)		
			2	Co2削減のため協働で取り組む		
			3	ダム、堤防の限界に関する説明、情報開示		
4	住民、行政協働による一体化した川づくり					
5	間伐材を活用した砂防ダム作り					
6	人災天災の予防教育					
7	3日分の水、食糧確保(居住者用)					
中長期	協働	1	支川ごとの川づくりワークショップの実施			
		2	穏やかな消防、水防ボランティアの登録、組織化			
		3	防災:機材の追加、削減			
		4	防災:訓練時の結果により運用規則を改定			
		5	防災:団塊世代等若年高齢者の積極的活用			
		6	原発事故対策 ヨウ化カリウムを準備する			
		7	土石流対策(急傾斜地)			
		8	安心なまちづくりのため山に植樹する(農産物等)			
		9	避難個所の増設。避難場所の看板をもっとわかりやすく(他所の人からもよくわかるように)			
		10	自主・防災組織の設置			
		1	防災意識の向上(各自治体単位)			
		2	防災組織の確立(全自治会に)			
		3	天災に対する対策			
		4	安心の基本は危機管理			
		5	行政は道路、橋、川等の防災を長期的に実行する責任あり			

テーマ 防犯

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	協働	1	町内にいる不審者発見		
		2	不審者情報、危険情報の町内展開制度		
	共助	1	防犯マップ(夜、暗い所など)の作成		
		2	日中の小学校、保育園等へ不審者が侵入するのを警備する		
		3	学校の空き教室でお年寄りのサークルを作り、不審者の侵入を防ぐ		
		4	自治会別パトロール		
		5	110番マップの普及と活用		
		6	防犯:高齢者の散歩、犬の散歩のついでに目配り		
		7	防犯:ボランティアを組織して巡回。NPO主導で各団体取り込む		
		8	防犯:ボランティアを組織して巡回。自治会、PTA等の参加		
		9	防犯:ボランティアを組織して巡回。プライバシー保護と調整		
	自助	1	防犯パトロール実施。地域毎にパトロール隊を設け自主点検等を行なう		
		2	高齢者の散歩を兼ねたパトロール		
		3	防犯のため「忌中」表示の中止		
		4	防犯灯、夜光タスキ、緊急ベルの所持		
5		防犯 各家の電灯をつける	2		
中期	共助	1	小学校の警備 元気な高齢者グループによるボランティア活動を行なう		
	協働	1	身近に発生した事故犯罪情報の掲示		
		2	不審者・不審車等の通報、体制づくり(連絡網)		
		3	夜の町を明るく(電灯)することだけが安全にならない		
	共助	1	パトロール:各自治会で防犯活動を行う。 夏休み以外も夜間パトロールを行う。		
		2	防犯:町内掲示板などに掲示		
		3	通学児の安全確保:ボランティアによる学童の安全確保		
		4	部落内見廻り、特に通学時間に合わせて実施、老人会で		
		5	老人が空き教室を利用し、学校の安全をまもる		
	自助	1	登校途中の小学生に声かける		

## テーマ 交通安全

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	協働	1	短時間違法駐車追放のための啓発		
		2	信号機に右折の矢印のマークを増やして欲しい		
		3	既存のカーブミラー、防犯燈のチェックと修繕		
	共助	1	朝夕の垂井駅周辺の交通整理		
		2	子供に対する交通安全教育		
		3	路上、公共用地の駐車違反は緊急時危険。警告の掲示板を設置する		
		4	交通安全: ボランティアで違反チェックと警告をしてもらう		
	自助	1	交通安全: 車のナンバーを警察に通報する		
		2	交通安全: 言うことは言う		
中期	共助	1	交通安全に携わる各種団体の組織間の強化が必要である		
	協働	1	二輪車道を作る(強風時の安全確保)		
		2	子供達の通学路を学童と共に "ひやっとマップ"		
		3	交差点の十・Tの印を小さい所にもつける		
		4	交通信号燈の見直し(自治会です)		
		5	交通事故対策 危険ポイントマップの作成配布		
		6	定期的に交通指導、整理		
	共助	1	地域内の道路危険箇所総点検		
		2	街路灯、カーブミラー清掃奉仕(自治会で実施)		
		3	女性の老人を対象に、交通安全の呼びかけを行う		
	自助	1	街中の路肩で、小石に気づいたらどける		

## テーマ 安心・まちづくり

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	協働	1	外国人労働者のマナー改善		
	自助	1	ゴミの収集場所の整備		
			2	外出の際は隣近所に声をかける。近所付き合いの見直し	
中期	自助	1	チャイルドシート等、リサイクルできる商品は、もっと利用する		
		2	スーパーのレジ袋はできるだけ使用しないようにする		
		3	ペットボトル製品は販売せずにビン類に		
		4	スーパーの買い物袋を有料化に		
中長期	共助	1	住民同士のコミュニティ不足の解消		
		2	自治会組織の意識改革		
	協働	1	安心安全の食品作り		
		2	老人達が気軽に集まり一日が過ごせる集会所づくり		
		3	将来を担う子供たちの教育のあり方		
		4	民介助支援		
		5	町が活気づく方法を考える		
		6	安心には地域ぐるみのコミュニティーが必要、気楽に集まる組織が必要		
	共助	1	老人、子供たちばかりの時間		
		2	ごみ不当投棄監視員を軽トラック所有者がボランティアで行う		
		3	看板等の設置方を点検、見直す(販売機、旗等)		
		4	近隣ボランティアの輪を広げる		
		5	地域で花見とか忘年会をやり、お互いに親しく相談し易くする		
		6	子供達に積極的に挨拶し、地元の顔見知りのおじさん、おばさんになる		
	自助	1	あいさつ運動: 幼児にもお年寄りにも「おはよう」と声をかける		

テーマ 行政

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	協働	1	朝倉公園に垂井町のPR広告(看板)設置 【新幹線から見えるように】		
		2	行政の現状を知る機会作り		
		3	外部監査制度の導入を図る(資格者、有識者、民間人による)		
		4	補助金については、住民と検討委員会をつくり見直しする		
		5	護岸工事周辺が寂しい 植樹を		
		6	水道料金値上げで山に植林		
		7	ゴミの出し方を自治会で指導		
		8	タルイピアは無くしたい。やるならボランティアでやってほしい		
		9	モーニング券の発行と喫茶店にご意見箱設置		
		10	地域自治組織を立ち上げ、予算委譲		
		11	人数を基準にした老人会助成はやめる		
		12	住民税の1%は支援する団体、ボランティアに出したい		
		13	行政、住民協働で“まちづくり協議会”を作る		
		14	返済不要費用の範囲で予算編成 補助金の(約3億円)全項目削減。必要なものは予算化する		
		15	町職員の給与20%アップで人材確保、組織、仕事の合理化		
		16	今回のワークショップなどに、是非、議員の方は出席して欲しい		
		17	町民、議員のコミュニケーションを良くする 町会議員の質を変える努力をする		
	共助	1	NPO活動の勉強会	2	
		2	ゴミ分別、リサイクル		
		3	ゴミ分別、再利用化をすすめる		
		4	一般ゴミのリサイクル又は固形化をする		
		5	生ゴミ堆肥化(プラント式、バッチ式)		
		6	虚礼廃止		
		7	インフォメーションのスリム化、IT教育の強化		
		8	商店街に足を運んでもらうため、駅の外れに駐車場を作る(商店街歩行)	3	
		9	町重点施策(川作り、少子高齢化、観光)の都度、ワークショップ実施		
		10	社協の活動費は必要か。支払うなら領収書で確認をする		
		11	旅館が少ない。空家を借り上げ、宿舎にする		
		12	住民の意識改革も大切で、近隣ボランティアをつくり話し合う		
		13	町債は町民で購入(低利、町政関心を狙う)		
		14	議会の傍聴にみんなで行こう	2	
		15	誰でも町会議員になれるシステムづくり		
		16	ボランティア町会議員をつくる		
	自助	1	元気なあいさつ		
		2	町債購入		

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考	
中期	協働	1	老人が安心して暮らせる環境づくり			
		2	老人介護NPOづくり			
		3	高齢者が生きがいの場として「働く場」づくりをすすめる			
		4	年間土木建設工事について住民アンケートの実施(安全優先)			
		5	公共工事の住民参加による効率化(河川敷維持など)			
		6	補助金の見直し 行政政策を公、共、民と私が出来ることにより分類する			
		7	行政効率目標「5億円経費削減」明示			
		8	町民との懇談会に行政も加わって定期的に行う 町議と町民との懇談会の義務化			
		9	町議会、委員会のCATV、インターネット放映			
		10	行政、議会、住民協議で“まちづくり”条例をつくる			
		11	日本初の住民参加予算編成実現(垂井を全国にアピール)			
		12	議員を頼りにしない住民意識			
	共助	1	明神湖からの登山林道開発、椿植樹			
		2	自治会を活性化し、住民が行う組織作りをする			
		3	アウトソーシングの徹底 各種施設の管理・運営(文化会館、図書館等)			
		4	有識者、住民、役場の三者会議の設立、効率化検討			
		5	長期計画等の企画に町民の意見を取りあげる			
		6	垂井町の中長期展望(ビジョン)の確立			
		7	住民会議の設立			
		8	相川河川敷維持管理の補助金599万円を止めボランティアに依頼			
		9	目標フォロー会開催(行政、自治会、NPO等参画)			
	自助	1	町債購入			
中長期	協働	1	効果値確認組織(公募)結成			
		共助	1	ITネットは、私たちが監視できるように知識、フレームを知る		
			2	町内各種住民組織の連携		
3	目標フォロー会各地開催					
	自助	1	町債購入			
		2	効果値確認組織へ参加			

テーマ まちづくり

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	協働	1	商店街の空き店舗利用検討		
		2	巡回バス車内テープで名所、史跡、商店街の案内をする		
		3	観光地の整備、ネットワーク化をすすめ近隣市町との連携を図る (年間100万人の集客をめざす)		
		4	健康増進施策の拠点とするため、水中運動施設をつくる (保健指導員200人を養成し、老人医療の30%の削減をめざす)		
		5	農産物等の安定供給体制をはじめめるために、プロジェクト創設		
		6	農業の自立化をめざし中京圏、京阪神への販売をする		
		7	新水耕栽培の無農薬をすすめるため調査研究をする		
		8	町内電力は、風力発電(8基)で充分。調査研究を進めたい		
		9	中山道・垂井宿のまちづくり条例をつくって整備する		
		10	観光マップ作成。地域、個別を統合して経費削減		
	共助	1	観光客を呼び込むために目玉をつくる。そのために地域住民の意識向上を図る対策をすすめる		
		2	住民の力でワークショップの継続をしよう		
		3	自主防災隊早く立ち上げよう		
		4	ボランティアによるユニークな観光案内(例:街角案内)		
	自助	1	元気なあいさつ		
		2	出来ることから即実行		
中期	協働	1	林道の入口にゲートをつくり、関係者以外の立ち入りを禁止してサイクリング道路の整備		
		2	歴史・遺跡の整備		
		3	河川上流を整備して水芭蕉などの観賞できる花を植える		
		4	大河ドラマ誘致計画立案(金はかけない)		
	共助	1	案内書を見直して観光迷子をへらす		
中長期	協働	1	JRの電車増発 JRの名古屋方面の直送、快速の増発をするため、検討機関をもうける		
		2	大学キャンパスの誘致 自然を生かし、若者が集まる大学キャンパスの誘致を図る		
		3	落葉樹を増やして森林の見直しを図る		
		4	住みやすい魅力あるまちづくりで人口を誘致する		
		5	大河ドラマ誘致。岐阜県フィルムコミッション活用		
	共助	1	史跡PRと案内人育成		
		2	町をビデオで宣伝		
		3	町独自の「道の駅」と観光開発		
		4	全国から椿の苗木募集		
		5	朝倉公園の有効活用		
		6	地産地消の活性化(朝市運動の展開)		
		7	町民自主防災組織の早期確立		
		8	道の駅の設置と活用		

テーマ 健康・福祉

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	協働	1	定期的に(健康づくり)歩け歩け運動を公民館単位で スポーツジム、ウォーキングデイ(年12回)	4	
		2	地域集会所サロンの充実した活用、 老人達が気軽に集い憩える場所としたい	2	
		3	学童保育の1万円/月は高すぎる		
		4	運動会の統一(町民・小学校運動会を共同開催に)		
		5	安心して子供がつかれない		
		6	老人の地域との共生(地域コミュニティの組織化)		
		7	老人と小学生とのふれあい活性化(校舎・体育館の共生)		
		8	医療施設、機関への投資効果の追求を公表してほしい		
		9	病院での薬多投与を抑制してほしい		
		10	救急車の有料化(公共サービスの公平化)		
		11	(独居)老人等の料理教室開催を多くしてほしい		
		12	男性の介護の勉強会		
		13	各年代に対応した食事づくり(運動・食事・リクリエーション)		
		14	若年からの男性自立のための講習などの実施		
		15	公民館の健康器具の活用		
		16	学童保育は全小学校校下ですすめる		
		17	早朝ラジオ体操の呼びかけ強化、年間実施する、記録紙、インストラクター 養成		
		18	各種スポーツ(散歩、グランドゴルフ)がここから始まり活性化		
		19	スポーツ参加表彰制度		
		20	町内バス運行見直し、早期に実施		
		21	禁煙、ガン予防などの話し合いの機会と場をつくる		
		22	老人会は禁煙しないので入りにくい		
		22	少子化委員会設立		
	共助	1	ラジオ体操、太極拳、ウォーキング等の健康増進の 活動を自発的に行う風土をつくる	2	
		2	高齢者の生きがいにサロンの効能は大きい	2	
		3	老人の交通マナーの自覚と家庭の協力	2	
		4	公的な施設、サービス、勉強会をできるだけ利用するようPRする、 声をかけあう		
		5	子育て日本一をめざす(各方策の実施)(すくすくスクール)		
		6	自治会単位50戸の基準の集会を作り、老人のあつまり場としたい		
		7	独居老人の見回りネットワークの見直し		
		8	若い人の健康意識を育てるためのスポーツ環境整備		
		9	白米をへらし、雑穀(そば、麦、あわ等)を多く取り入れる		
		10	健康への関心を強めるような風土をつくる		
		11	過剰な潔癖症が体質を弱くする		
		12	働きながら子育てしてもいい空気をつくる(白い目では見られない空気)		
		13	育児をする時間を取れる労務環境を整える(フリーター、職場のOBで補う)		
		14	2世代、3世代の同居生活ができる環境づくり		
		15	地域活動は三世代参加推進		
		16	共同農場を各地区につくり畑端会議		
		17	老人が表に出て一日5人以上と話し合う		
		18	サロン開設の地域との交流をはかり町全体に広める		
		19	福祉は住民のやる気が何よりだ		
		20	空屋利用の託児所の民営開設		
		21	若者の出会いの場をつくる		
		22	スポーツジムの運営(実技・管理)		



時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	自 助	1	他の人の活動に参加しにくい人もいる、隣近所にも自主的に参加しよう	3	
		2	子供と一緒に高齢者がいろんなことをやる(遊び、勉強)		
		3	一人スポーツを推進		
		4	趣味をもち、生き生きと生活すること		
		5	精神的にも肉体的にも自立しよう		
中期	協 働	1	子育て支援NPO(時間終了後の保育実施)		
		2	バリアフリーマップの作成		
		3	車椅子で動けるまちづくりのワークショップ		
		4	健康ランニングコースの設置		
		5	女性の教育の徹底(育児・家事)		
		6	育児休暇の完全取得ができる職場の環境整備		
		7	「子持ち=パート労働」の図式をなくす(行政、企業、住民で)		
		8	5年ごとにドックを受けよう。基金は各自積み立て		
		9	保育士の拡充により子育て環境づくりで一時保育の実施		
		10	町民参加の拠点施設を作り、福祉の充実を図る		
		11	障害者の駐車を無料にすべきである		
中期	共 助	1	重度障害者、要介護高齢者などの抱える当事者の意見の聞き取り		
		2	福祉相談110番のPR		
		3	高齢者の生きがい見つけサポーター養成		
		4	子育て支援センターの設立		
		5	組織づくり、住民会議の設立		
		6	楽しさのないサロンには参加しない		
		7	移入者が、旧来からの人の輪に入りやすいような空気が大切		
中期	自 助	1	子育て中は隣の子供もみてあげる		
中長期	協 働	1	幼保育園等の統廃合、民間委託を少子化にともない見直すべき	2	
		2	長時間保育を	2	
		3	子育てには教育費がかかりすぎ。奨学金制度(行政、市民で出資)	2	
		4	在宅介護の推進		
		5	廃校活用、町立老人介護施設の設置 介護スタッフは老人クラブ員の経験を活用する等お互いに助け合う		
		6	歴史ある行事の保存と子供達の参加		
		7	終末医療のあり方の検討		
中長期	共 助	1	保育園、幼稚園、学校、高齢者向けの給食の町農産物の活用		
		2	若い人の食生活の見直し		
		3	在宅介護に愛の手を		
		4	独居老人の訪問、老人会で定期的に行う		
中長期	自 助	1	原則(介護保険)親の面倒は子供の手で		

テーマ 教育

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	協働	1	外国人と外国語を使った交流の促進		
		2	夏休みの工作の親子共同制作		
		3	親子料理教室(父親の料理)		
		4	夏休みの親子での昆虫採集		
		5	クラブ活動を通じた付き合い方の体得		
		6	老人訪問を通じて年寄りとの付き合い方を習得		
		7	キャンプで野外活動をし、自炊などの実施		
		8	ボランティア活動で親が手本を示す		
		9	読書教育の促進		
		10	神田孝平を知り、教育に生かす		
		11	寺子屋式教育の復活による人材育成		
	共助	1	子どもたちに公民館単位のチャレンジ教室		
		2	回覧板での小中の新聞はよいので続ける		
		3	カルガリー海外派遣の見直し	3	
		4	誰でも挨拶できる教育をして欲しい	2	
		5	学童保育で勉強を教えて欲しい	2	
		6	東地区公民館活動の好評を、発表して欲しい		
		7	スポーツ少年団指導者の資質の向上		
		8	読み書きやそろばんをしっかりと、地域の教育力を	2	
		9	スポーツ活動も挨拶、行儀から		
		10	合原小学校の教育方法を全校見習う		
中期	協働	11	大垣市のように、土曜日の子どもたちをボランティアで預かる		
		12	子どもたちにくそじじい、くそばぁになって怒る		
		13	ITネットワーク化の強化、既存の施設を利用	6	
		14	地域リーダーを育てる組織づくり		
		15	子どもたちにワークショップの体験		
1	自治会単位で先生の担当を決め、郊外指導教育				
2	教員の定年を早め、退職者を非常勤講師採用				
3	保育園の統廃合				
4	駅の中に保育園をつくる				

テーマ 文化

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考	
短期	協働	1	観光客にPRできる史跡標識の設置	2		
		2	小中学生に町内史跡めぐり教育			
		3	芭蕉の俳句のPR			
		4	岩手地区祭囃子のPR			
		5	朝倉運動公園事業の推進			
		6	小中学校で垂井を知るフィールドワークをする			
		7	垂井ピアで毎年テーマを変えてイベント			
		8	垂井ピアで芸術観賞をし、収入を図る			
		9	地区公民館の開館時間の延長			
		10	教育文化の町(クリーンな町のイメージを出す)			
		11	芸術団体に文化会館営業の委託			
		12	図書館の民間委託と開館時間延長			
		13	タルイピアの広告の仕方が足りない			
		14	文化会館で中高年向け落語漫才の企画を			
		15	町政を勉強するためワークショップの常設をする			
	共助	1	各地域に観光ボランティアを組織する	2		
		2	半兵衛屋敷一帯の観光ボランティア発足	3		
		3	文化、体育活動は住民を主とした自主活動	3		
		4	子ども音楽教育に、子どもバイオリン隊結成			
		5	文化会館の利用促進で地元文化の拠点づくり			
		6	公共施設の管理は民間、自治会にさせる			
		7	芸術文化を次世代に伝えることに力をつくす			
		8	自転車を駅に設置し、垂井町散策に貸す			
		9	タルイピアを生涯学習の実践場(サロン含め)			
		10	垂井町フロイディ合唱団を育てて欲しい			
		11	夏休みにわらび座などを文化会館で企画を			
		12	文化の向上のため個人宅でコンサートの企画を			
		13	垂井ピアでバザーの開催			
	自助	1	住民はNPOについて勉強すべき			
		2	親業教育に力を入れ、家庭教育で子供を育てる			
中期	協働	1	椿山づくりで観光の促進			
中長期	協働	1	里山を生かした環境村づくり			
		2	相川河川敷の維持599万円をボランティアで半減			
	自助	1	塾をあてにせず学校の責任を果たす			

テーマ 産業

時間区分	役割区分	NO	項目	票数	備考
短期	協働	1	ふれあい垂井ピアの見直し	3	
		2	町内巡回バスに観光名所案内テープを流す		
		3	全補助金の見直し		
		4	商工会の1,800万円の経費の使途が分からない		
		5	湧き水の保全と活用...ハリヨ保存		
		6	南宮山、北山の風力発電の調査		
		7	竹中半兵衛の館の再現		
		8	観光施設の充実		
		9	垂井・関ヶ原・養老・大垣と連携した観光促進		
		10	朝倉温泉を健康増進施設の拠点として活用		
		11	人口増加対策をすすめる		
		12	企業・産業の環境問題について、環境問題活動グループと協働する		
		13	D2撤退後の健全な再建		
		14	地産地消ショップの常設(朝市の終日開設)		
		15	朝市の野菜類の購入促進		
		16	レンタルサイクルの導入とサイクルツアーマップの作成		
		17	道の駅の協働開業(シルバー人材の収穫物)		
	共助	1	起業意欲と産業振興の意識の高揚	2	
		2	郷土食を提供する飲食業の開発		
		3	垂井ブランド産物の商品化		
		4	朝倉温泉の産物販売		
		5	温泉の宅配で老人パワーの活用		
	自助	1	田んぼの畦の犬の糞のしまつ		
中期	協働	1	農産物の直売場と特産品の開発		
		2	薬草植物園をつくり、薬草特産品づくり		
		3	JR日守駅をつくる		
		4	JRの本数を増やし、企業誘致する		
	共助	1	高齢者農業支援と野菜栽培品の学校給食への利用		
		2	農産物のインターネット販売と特産品の開発(薬用キノコ)		
中長期	協働	1	森林管理の充実で安全な飲料水の確保		
		2	池田町～関ヶ原町の林道を利用した観光開発と森林公園をつくる		

テーマ 環境

時間区分	役割区分	NO	項目	票数	備考
短期	協働	1	ゴミ分別の徹底、細分化	2	
		2	ゴミ処理の炭化、スラブ化、発電へのプロジェクトの調査検討		
		3	ゴミ再利用リサイクルステーションの立ち上げ	2	
		4	生ゴミの肥料化、農地で利用		
		5	生ゴミ 堆肥工場 町内農地 給食・朝市 協力店 (垂井ブランド確立、食育)		
		6	ゴミ不法投棄防止のための町民の電話通報		
		7	ごみ減量の学習会の開催		
		8	産業廃棄物の不法投棄防止パトロール制度の導入		
		9	環境提案制度の創設(報酬制度・フィードバック)		
		10	NPOリサイクルセンターの創設		
		11	ダイオキシンの発生防止		
		12	環境デーの行事として山奥の不法投棄の確認		
		13	清掃活動を地域活動として定着させる		
		14	地域の清掃奉仕日を増やす		
		15	耕作放棄地での菜種作付 食用油 給油 廃油ディーゼル化		
		16	環境研究団体を立ち上げ普及活動をする		
		17	環境市民団体による環境チェック		
		18	休耕地のゴミ捨て対策の検討機関を設置		
		19	農業、林業、日常生活で使用している薬物を把握する		
	共助	1	レジ袋の廃止	2	
		2	レジ袋を辞退した客にポイント制の導入		
		3	空き農地の雑草、ゴミを放置しない		
		4	農地の賃借りを促進するため農地銀行、JAを活用する		
		5	農業、林業、日常生活で使用している薬物を把握する		
	自助	1	家庭ゴミは家庭で処理する(生ゴミ処理機、焼却)	2	
		2	他町のゴミ処理対策について学習する		
		3	各自治会毎に年1~3回ワークショップを義務付けて意見提案する		
		4	自分の使っている薬物を確認する		
		5	井戸掘りを止め、雨水、風呂水をトイレ、洗濯、散水に使用		
		6	マイバック持参へ意識の向上		
		7	自分の使っている薬物を確認する		

中期	協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 レジ袋の有料化</li> <li>2 環境を守るペットボトル・空き缶の自動処理機の導入</li> <li>3 生ゴミ処理はパッチ式、プラント式の処理</li> <li>4 薬物監視への参加</li> </ul>	2	
	共助	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 薬物監視講座への参加</li> <li>2 薬物監視講座の講師の育成</li> </ul>		
	自助	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 薬物管理の徹底</li> </ul>		
中長期	協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 生ゴミ発電開発</li> <li>2 住民参加で町ぐるみのISO14001の取得</li> </ul>		
	自助	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 田んぼの畦に犬の糞が多い</li> <li>2 住民が自分の健康を自分で維持する</li> </ul>		